

FUJITSU Desktop ESPRIMO

# リカバリガイド

## Windows 10

### 本書のバックアップについて

本書『リカバリガイド』は、ご購入時にCドライブに格納されています。

リカバリなどでCドライブを削除した場合は、本書のデータも削除され、元に戻りません。

事前に印刷（【Ctrl】 + 【P】 キー）またはバックアップしておくことをお勧めします。

このマニュアルは、改善のため変更することがあります。最新のマニュアルは、インターネット上のマニュアル（<https://www.fmwORLD.net/biz/fmv/support/fmvmanual/>）をご覧ください。

# 目次

---

本書をお読みにする前に .....	3
本書の表記 .....	3
1. 必要に応じてお読みください.....	5
1.1 内蔵ディスク構成.....	5
1.2 内蔵ディスク全体をリカバリする .....	6
1.2.1 注意事項 .....	6
1.2.2 内蔵ディスク全体をリカバリする場合の考え方 .....	7
1.2.3 内蔵ディスク全体をリカバリする前の準備.....	8
1.2.4 内蔵ディスク全体のリカバリを実行する .....	10
1.3 セットアップ .....	11
1.3.1 注意事項 .....	11
1.3.2 セットアップする .....	12
1.3.3 セットアップ後のインストール状態 .....	12
2. 補足情報 .....	13
2.1 起動メニューの表示のしかた .....	13



# 本書をお読みになる前に

## 本書の表記

本書は 2021 年 4 月現在の内容です。本書をお読みになり、ご不明な点がございましたら、『取扱説明書』に記載の「お問い合わせ先」へお問い合わせください。

### ■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 <b>重要</b>	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

### ■ 本文中の記載

本文では、「内蔵ハードディスク」および「内蔵フラッシュメモリディスク」を総称して「内蔵ディスク」と記載しています。

### ■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】 + 【F3】キー、【Shift】 + 【↑】キーなど

### ■ 連続する操作の表記

本書では、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

### ■ 画面例およびイラスト

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。

### ■ 本書に記載している仕様とお使いの機種との相違

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載しています。ご購入時の構成によっては、本文中の説明がお使いの機種の仕様と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。なお、本文内において、機種や OS 別の書き分けがある箇所については、お使いの機種の情報をお読みください。

## ■ ユーザーアカウント制御ウィンドウ

本書で説明している Windows の操作の途中で、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。これは、重要な操作や管理者の権限が必要な操作の前に Windows が表示しているものです。表示されるメッセージに従って操作してください。

## ■ 光学ドライブ

本書では、DVD-R DL (8.5GB) または DVD+R DL (8.5GB) に書き込みができる光学ドライブを接続していることを前提に記述しています。

- 本製品には、データを DVD に保存するためのアプリ「Roxio Creator LJB」がインストールされています。別売の外付け光学ドライブに添付の「Roxio Creator」をインストールする必要はありません。

## ■ 製品名の表記

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Windows 10 Pro 64 ビット版	Windows 10	Windows
Microsoft Office Home & Business 2019	Office	
Microsoft Office Personal 2019		
Roxio Creator LJB	Roxio Creator	

## ■ 商標および著作権について

Corel、Corel パルーンロゴ、Roxio、Roxio のロゴ、Roxio Creator、カナダ、アメリカ合衆国および/またはその他の国の Corel Corporation および/またはその関連会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。その他の各製品は、各社の著作物です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2021

# 1. 必要に応じてお読みください

## 1.1 内蔵ディスク構成

---

内蔵ディスクは、次の領域から構成されています。

- 「OS、アプリ、ドライバー」などの領域と空き領域
- 「Windows RE 領域」、「システム領域」

### POINT

- ▶ 「Windows RE 領域」、「システム領域」は、Windows からは見えない領域です。

本製品の内蔵ディスク構成は、次のとおりです。

EFI システムパーティション：約 1GB、Microsoft 予約パーティション：約 128MB 使用、Windows RE 領域：約 3GB。選択したストレージ容量より約 4.1GB を除いた容量がパーティション 3 (C ドライブ) となります。なお、各パーティションのファイルシステムはいずれも、NTFS となります (EFI システムパーティションの区画のみ FAT32 になります)。

## 1.2 内蔵ディスク全体をリカバリする

---

内蔵ディスク全体をリカバリします。変更したドライブ構成を元に戻す場合にもこの作業が必要です。

### 1.2.1 注意事項

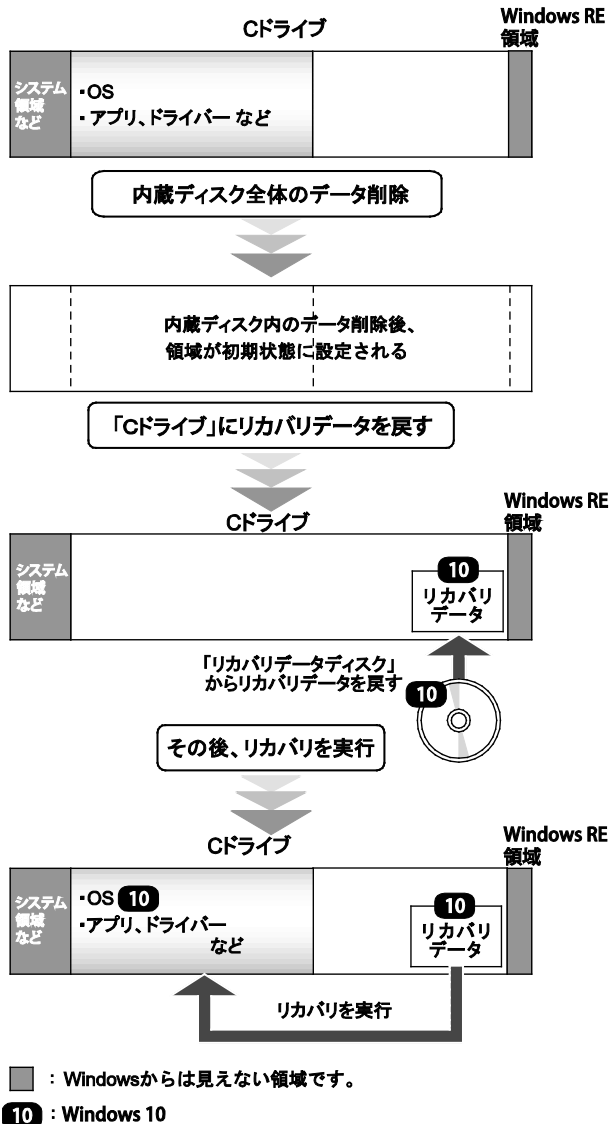
---

- 内蔵ディスク全体をリカバリすると、内蔵ディスクのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- 内蔵ディスク全体をリカバリするには、リカバリするためのディスクが必要です。
- セキュリティチップ搭載機種やセキュリティ機能内蔵機種でフォルダーやファイルの暗号化を行っている場合は、内蔵ディスク全体をリカバリする前に復元用のバックアップをしてください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せないことがあります。これによる損害などの責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
また、デバイスの暗号化、または BitLocker ドライブ暗号化が行われている場合、「デバイスの暗号化を無効にする」(→P.9) をご覧になり、暗号化を解除してください。
- 本製品から、USB メモリ、外付けハードディスク、プリンタなどすべての周辺機器を、必ず取り外してください(リカバリ作業に必要なキーボード、マウス、光学ドライブを除く)。
- デバイスドライバーのインストールが必要な機器の場合、リカバリ作業に必要な機器であっても、リカバリ作業時に接続しているとリカバリに失敗する場合があります(例:指紋認証/手のひら静脈センサー付きキーボード、タッチ機能付きディスプレイなど)。この場合は、デバイスドライバーのインストールを必要としない機器を別途ご用意いただき、リカバリを実施してください。
- 外部メディアを接続したまま、リカバリ作業や内蔵ディスクの領域設定を行うと、外部メディアに保存されているデータが削除される場合があります。
- 内蔵ディスク全体をリカバリするには時間がかかります。時間に余裕をもって、作業してください。

## 1.2.2 内蔵ディスク全体をリカバリする場合の考え方

いったん内蔵ディスク内のすべてのデータが削除され、領域がご購入時の状態に設定されます。続いて C ドライブにリカバリデータを戻し、その後リカバリを実行します。

### ■ リカバリのイメージ図



## 1.2.3 内蔵ディスク全体をリカバリする前の準備

---

内蔵ディスク全体をリカバリする前に、次の準備を行ってください。

### ■ ディスクを用意する

- リカバリ起動ディスク  
リカバリを実行する場合、このディスクから起動します。
- ドライバースディスク  
アプリやドライバーをインストールする場合に使用します。

#### 重要

- ▶ ご購入時に添付されているすべてのアプリやドライバーが、富士通製品情報ページ内にある「ドライバダウンロード」([https://www.fmworld.net/biz/fmv/index\\_down.html?fmwbfm=pctop\\_support](https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html?fmwbfm=pctop_support)) に公開されているわけではありません。添付のアプリやドライバーをインストールしたい場合は、「ドライバースディスク」が必要です。
- リカバリデータディスク  
内蔵ディスクをご購入時の状態に戻す場合に使用します。

### ■ 光学ドライブを接続する

内蔵ディスク全体をリカバリするときには、必ず外付け光学ドライブを接続してください。

### ■ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時から変更している場合は、ご購入時の設定に戻します。

BIOS セットアップの操作方法については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド（共通編）』をご覧ください。

#### 重要

- ▶ 設定が異なると、Windows が起動しなかったり、正常にリカバリが完了しなかったりすることがありますので、必ず確認してください。

BIOS 設定

#### POINT

- ▶ 「BIOS パスワード」や「管理者用パスワード」を設定されている場合は、BIOS セットアップを「管理者用パスワード」で起動する必要があります。

BIOS セットアップ画面の「終了」メニューから「標準設定値を読み込む」を実行します。



## ■ デバイスの暗号化を無効にする

セキュリティチップ搭載機種やセキュリティ機能内蔵機種で、デバイスの暗号化が有効になっている場合は（手順 3 で確認することができます）、次の手順でデバイス暗号化を無効にしてください。

1. Microsoft アカウントで Windows にサインインします。
2. 「スタート」ボタン→「設定」→「更新とセキュリティ」の順にクリックします。
3. ウィンドウ左の「デバイスの暗号化」をクリックします。  
「デバイスの暗号化」が表示されていない場合、対象装置ではありません。  
リカバリに進んでください。
4. 「デバイスの暗号化が有効になっています。」と表示されている下にある「オフにする」ボタンをクリックします。

## 1.2.4 内蔵ディスク全体のリカバリを実行する

### 重要

- ▶ 内蔵ディスク内のすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。

#### 1. 起動メニューを表示します。

詳しくは「2.1 起動メニューの表示のしかた」(→P.13) をご覧ください。

#### 2. 「リカバリ起動ディスク」をセットします。

### 重要

- ▶ 次の操作を行ってください。
  1. ディスクをセットしたまま、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して、本製品の再起動を行い、続けて【F12】キーを押します。
  2. 「FUJITSU」のロゴが表示された後、起動メニューが表示されたら【F12】キーを離します。

#### 3. データの読み込みが終了し光学ドライブが停止してから、カーソルキーでディスクをセットした光学ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。「ディスク全体をご購入時の状態に戻す」が表示されます。

### POINT

- ▶ 「UEFI：[光学ドライブ名]」を選択してください。

#### 4. 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

#### 5. 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、ディスクの確認の後、

1. ハードディスクの領域を設定する
2. リカバリディスクセットを復元する
3. リカバリを実行する
4. 最終処理を実行する

の順に進みます。画面のメッセージで指定されたディスクをセットして、操作を進めてください。「リカバリが完了しました。」というメッセージが表示されたら手順 6 に進んでください。

#### 6. ディスクを取り出し、「完了」をクリックします。

製品本体の電源が自動的に切れます。

#### 7. 外付け光学ドライブを取り外します。

以上で内蔵ディスク全体をリカバリする操作が終了しました。

続けて、「1.3 セットアップ」(→P.11) をご覧になり、セットアップを行ってください。なお、電源は 30 秒以上待ってから入れてください。

## 1.3 セットアップ

---

### 1.3.1 注意事項

---

- セットアップが完了するまでは、次のものを接続または変更しないでください。セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
  - ・ 周辺機器（セットアップ作業に必要なキーボード、マウスを除く）
  - ・ 2 台目のディスプレイ
  - ・ BIOS の設定
  - ・ LAN ケーブル
- セットアップは無線 LAN や有線 LAN に接続しない状態で行ってください。  
インターネットに接続してセットアップを行うと、非常に時間がかかり 1 時間以上セットアップが進んでいないように見える場合があります。
- デバイスドライバーのインストールが必要な機器の場合、セットアップ作業に必要な機器であっても、セットアップ作業時に接続しているとセットアップに失敗する場合があります（例：指紋認証／手のひら静脈センサー付きキーボード、タッチ機能付きディスプレイなど）。この場合は、デバイスドライバーのインストールを必要としない機器を別途ご用意いただき、セットアップを実施してください。
- 外部メディアを接続したまま、セットアップ作業を行うと、外部メディアに保存されているデータが削除される場合があります。
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押したり、画面を操作したりすると、Windows セットアップが完全に行われな場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、操作してください。
- Windows セットアップが進められなくなった場合、次のように操作してください。  
電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切り、いったん電源ケーブルを抜いてください。30 秒以上待ってから再度電源ケーブルを接続し、電源を入れてセットアップをやり直してください。  
セットアップがやり直せない場合は、リカバリを行ってください。リカバリについては、「1.2 内蔵ディスク全体をリカバリする」（→P.6）をご覧ください。
- Windows セットアップの途中で、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示された場合は、お使いのディスプレイに合わせたドライバーをインストールしてください。
- マルチディスプレイ機能搭載機種の場合は、セットアップを行い、ディスプレイドライバーをインストールした後に、2 台目のディスプレイを接続してください。マルチディスプレイ機能については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド（機種別編）』をご覧ください。

## 1.3.2 セットアップする

---

製品本体の電源を入れ、表示された画面のメッセージに従ってセットアップを行います。  
詳しい手順や注意事項につきましては、『取扱説明書』をご覧ください。

## 1.3.3 セットアップ後のインストール状態

---

リカバリを行うとセットアップ後のアプリやドライバーのインストール状態は次のようになります。必要に応じて、アプリやドライバーをインストールしてください。

### ■ アプリやドライバーのインストール状態

ドライバー類	Office 製品 (搭載モデルの場合)
インストールされます。	インストールされません。 「Office のインストール」 (→P.12) に進んでください。

### ■ Office のインストール

Office 搭載モデルの場合、リカバリを行うと Office 製品はインストールされません。次の操作が必要です。

マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

インストール方法については次のホームページをご覧ください。

<https://www.office.com/jppipcsetup/>

この後は、『取扱説明書』をご覧ください。セットアップの後に必要な操作を行ってください。

## 2. 補足情報

### 2.1 起動メニューの表示のしかた

---

ここでは、起動メニューの表示のしかたを説明します。

#### POINT

- ▶ BIOS セットアップの「起動メニュー」が「使用しない」の設定になっている場合、起動メニューは表示されません。設定を「使用する」に変更してください。  
BIOS セットアップの操作方法については、インターネット上のマニュアル『製品ガイド（共通編）』をご覧ください。
- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- ▶ 起動メニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、本製品の電源を完全に切ってからもう一度操作してください。

1. 【F12】キーを押したまま、本製品の電源を入れます。
2. 「FUJITSU」のロゴが表示された後、起動メニューが表示されたら【F12】キーを離します。

---

リカバリガイド  
B6FK-5951-01 Z0-00

発行日                    2021年4月  
発行責任                富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。